

感染対策の再徹底のお願いについて

令和 4 年 4 月 8 日

岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部

県内の直近の感染状況では、保育園、幼稚園での感染やそれに伴う家庭内感染に加え、職場やスポーツ活動によるクラスターが複数確認されています。

また、感染経路が不明な事例が増えており、誰もが、いつ感染者や濃厚接触者になってもおかしくない感染状況です。

県民の皆様には、あらためて感染防止策の徹底をお願いします。

1 家庭における感染対策の徹底のお願い

- ・ 家庭内においては、マスク着用が難しい子どもなどを除いて、特に同居する高齢者や基礎疾患のある方と会話する際のマスク着用をお願いします。
- ・ 軽度の発熱、倦怠感など少しでも体調が悪ければ、外出を控えるとともに、医療機関等へ電話相談の上で早期に受診・検査をするようお願いします。

2 教育・保育施設・学校における感染対策の徹底のお願い

- ・ 症状のある子どもの登園・登校を自粛するようお願いします。

3 職場における感染対策の徹底のお願い

- ・ 昼食時、休憩時を含めて会話時のマスク着用を徹底するようお願いします。
- ・ 休憩室、更衣室においてもマスク着用を励行するとともに、密が生じないような過ごし方を徹底するようお願いします。
- ・ 在宅勤務（テレワーク）、ローテーション勤務、時差出勤等による人との接触の低減をお願いします。

4 会食・会合にかかるお願い

- ・ 歓迎会やお花見等の会食は、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用するようお願いします。
- ・ 会合等の開催に当たっては、密閉・密集・密接の一つの要素もないようお願いします。
- ・ 飲食店利用については、感染対策が整っている「いわて飲食店安心認証」店の利用を推奨します。

5 外出の際のお願い

- ・ 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出は自粛するようお願いします。

職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため ～取組の5つのポイント～を確認しましょう！

- 職場における新型コロナウイルス感染症対策を実施するために、まず次に示す**～取組の5つのポイント～**が実施できているか確認しましょう。
- **～取組の5つのポイント～**は感染防止対策の基本的事項ですので、未実施の事項がある場合には、「**職場における感染防止対策の実践例**」を参考に職場での対応を検討の上、実施してください。
- 厚生労働省では、職場の実態に即した、実行可能な感染症拡大防止対策を検討していただくため「**職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト**」を厚生労働省のホームページに掲載していますので、具体的な対策を検討する際にご活用ください。
- 職場における感染防止対策についてご不明な点等がありましたら、都道府県労働局に設置された「**職場における新型コロナウイルス感染拡大防止対策相談コーナー**」にご相談ください。

～取組の5つのポイント～

実施できて いれば <input checked="" type="checkbox"/>	取組の5つのポイント
<input type="checkbox"/>	テレワーク・時差出勤等を推進しています。
<input type="checkbox"/>	体調がすぐれない人が気兼ねなく休めるルールを定め、実行できる雰囲気を作っています。
<input type="checkbox"/>	職員間の距離確保、定期的な換気、仕切り、マスク徹底など、密にならない工夫を行っています。
<input type="checkbox"/>	休憩所、更衣室などの“場の切り替わり”や、飲食の場など「感染リスクが高まる『5つの場面』」での対策・呼びかけを行っています。
<input type="checkbox"/>	手洗いや手指消毒、咳エチケット、複数人が触る箇所の消毒など、感染防止のための基本的な対策を行っています。

テレワークの積極的な活用について

- 厚生労働省では、テレワーク相談センターにおける相談支援、労働時間管理の留意点等をまとめたガイドラインの周知等を行っています。
- さらに、テレワークの導入にあたって必要なポイント等をわかりやすくまとめたリーフレットも作成し、周知を行っています。
- こうした施策も活用いただきながら、職場や通勤での感染防止のため、テレワークを積極的に進めてください。

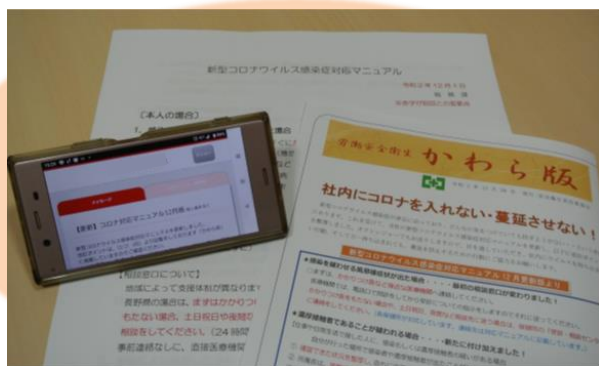
リーフレットは
厚生労働省ホームページから
ダウンロード可能です。



職場における感染防止対策の実践例

○ 体調がすぐれない人が気兼ねなく休めるルール

新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応手順の作成（製造業）



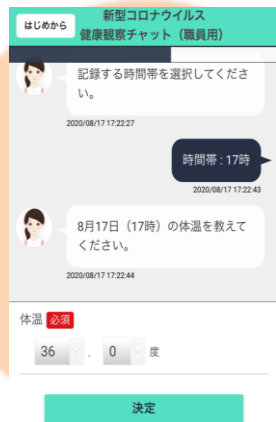
- 感染者が発生した場合の対応手順を定め、社内イントラネットや社内報で共有した。

- [手順]
- ①感染リスクのある社員の自宅待機
 - ②濃厚接触者の把握
 - ③消毒
 - ④関係先への通知など

手順全文は
(独)労働者健康安全機構
長野産業保健総合支援
センターホームページから
ダウンロード可能です。



体調確認アプリの活用（その他の事業）



- 従業員が日々の体温等の体調を入力し、管理者が入力状況を確認できるアプリを活用して、体調に異常のある者に対して在宅勤務やかかりつけ医への電話相談等の対応を促している。

※本事例では、長崎県健康管理チャットサービス（N-CHAT）を使用

サーマルシステムの導入（社会福祉法人）



- サーマルシステムを施設受付入口に設置し、検温結果が37.5℃以上の者の入場を禁止している。
- 本システムでは、マスクの着用の検知を行い、マスクの未着用者には表示と音声で注意喚起を行う仕組みとなっている。

○ 密とならない工夫

I Tを活用した対策（建設業）



- スマートフォン用無線機を導入し、社員同士や作業従事者との会話に活用。3密を避けたコミュニケーションをとるようにした。

I Tを活用した説明会の開催（その他の事業）



- WEB方式と対面方式併用のハイブリッドの説明会を開催した。
- 対面での参加者に対しても、席の間隔を空ける、机にアクリル板を設置するなどの対策を行った。

職場における感染防止対策の実践例

○ 感染リスクが高まる「5つの場面」を避ける取り組み

※ 職場では、特に「居場所の切り替わり」（休憩室、更衣室、喫煙室など）に注意が必要

休憩所での対策（小売業）



➢ 休憩室の机の中央を注意喚起付きのパーテーションで区切り、座席も密とならないよう二人掛けにし、対面とならないよう斜めに配置した。

昼休みの時差取得（製造業）

区分	就業時間	休憩時間	労働時間
1 直	7:00 ~ 16:00	① 11:00 ~ 12:00	8.0Hr
		② 11:30 ~ 12:30	
2 直	16:00 ~ 1:00	① 20:00 ~ 21:00	8.0Hr
		② 20:30 ~ 21:30	

※休憩時間の3密回避のため、時間帯を二つに分けることとする。

➢ 休憩時間の3密回避のため、労使協議の上、休憩時間帯を2つに分けることとした。

○ 感染防止のための基本的対策

入館時の手指等の消毒（宿泊業）



➢ 宿泊者と従業員の感染防止のため、ホテル入口の消毒液設置場所に、靴底の消毒のためのマットを設置した。

複数人が触る箇所の消毒（製造業）



➢ 複数人が触る可能性がある機械のスイッチ類を定期的に消毒することを徹底した。

○ その他の取り組み

外国人労働者への感染防止対策の周知（建設業）

(((感染症防止5)))

- 手洗い うがい 確実に！
- 十分とろう 睡眠は！
- 毎朝検温 忘れずに！
- 人混み避けよう！マスクせよ！
- 必ず換気 休憩所！

Phòng chống nhiễm khuẩn 5 (Coronavirus)

- Rửa tay súc miệng chắc chắn!
- Có đủ giấc ngủ!
- Đừng quên kiểm tra nhiệt độ mỗi sáng!
- Hãy tránh đám đông! Đứng trên một mặt nạ!
- Hãy chắc chắn để thông gió khu vực còn lại!

➢ 建設現場に入場する外国人向け安全衛生の資料に、新型コロナウイルス感染症の注意点を外国語に翻訳したものを掲載し、周知徹底を図った。

新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況等について

1 県内のワクチン接種の状況

- (1) 4月5日時点において、全人口約122万1千人に対する3回目接種率は43.8%、全国の接種率(43.5%)と同程度となっている。
- (2) 高齢者の3回目接種率は83.8%で、全国の接種率(83.7%)を上回っており、8割を超える方への接種が終了したところ。

2 3回目接種に係る今後の見通し

- (1) 国では、3月下旬から12歳から17歳までの方を3回目接種の対象としたところであり、市町村では、希望する方への接種が円滑に進むよう、順次接種券の送付を行っている。
- (2) 12歳以上人口のうち、1・2回目接種を終了した方は約101万9千人となっており、このうち4月末までに接種間隔が6か月経過する方は約91万人となる見込み。
- (3) 3回目接種に使用するモデルナ社ワクチン及びファイザー社ワクチンとして、県内には約119万7千回分が4月末までに順次供給されることとなっており、十分な量のワクチンが確保できる見通しとなっている。

3 県の集団接種の今後の予定

(1) 直近の予約状況(4/6 17時00分時点)

日程	会場名	予約枠	予約数(3回目接種)			予約率	土日合計		
			個人	団体	計		予約枠	予約数	予約率
4/9(土)	ツガワ未来館	2,940	300	488	788	26.8%	4,410	1,024	23.2%
4/10(日)	アピオ	1,470	132	104	236	16.1%			

※4/9(土)、10(日)は予約の空き状況を踏まえ、事前予約なしの当日受付を実施。

(2) 4月以降の県集団接種の実施日程

日程	会場名	日程	会場名
4/16(土)、17(日)	ツガワ未来館アピオ	5/7(土)、8(日)	ツガワ未来館アピオ
4/23(土)、24(日)	江刺西体育館	5/21(土)、22(日)	花巻市交流会館

※4/16(土)、17(日)の予約は、4/8(金)9時に受付開始予定。(詳細は県HPに掲載)

4 職域接種の実施状況

3回目接種に係る国の職域接種は、4月5日時点で、申請済が13団体、接種見込人数は約2万人となっており、このうち4団体が接種を開始している。

また、県の集団接種では約70団体、1万1千人分の団体予約枠を設け、4/9(土)から順次接種を行う予定。

5 5歳から11歳までの小児への接種状況

- (1) 県内では、複数の市町村による広域的な接種を含め、全ての市町村において接種体制を確保のうえ、順次接種を進めている。
- (2) 4月5日時点における5歳から11歳までの約6万6千人に対する接種率は、1回目が12.4%、2回目は1.1%となっている。

小学校等における新型コロナウイルス一斉・定期的検査の実施について

【要旨】

新学期の開始にあわせ、既に一斉・定期的検査を実施中である高齢者施設、教育・保育施設に加え、ワクチン接種対象年齢未満の児童等が在籍し、クラスターの事例が多い小学校のほか、医療的ケアが必要な児童等が在籍する特別支援学校等の職員を対象に、一斉・定期的検査を実施します。

1 小学校等における一斉・定期的検査の実施について

新学期の開始にあわせ、ワクチン接種対象年齢未満の児童等が在籍し、クラスターの事例が多い小学校のほか、医療的ケアが必要な児童等が在籍する特別支援学校等の職員を対象に、一斉・定期的検査を実施する。（教育・保育施設については既に一斉・定期的検査を実施中）

- （１）対象地域
県内全域（調整中）
- （２）対象施設
小学校、特別支援学校
- （３）対象者
対象となる学校の職員であって無症状の者（児童等に直接接触する職員等）
- （４）実施期間
令和４年４月中旬～

2 対象施設及び対象者数

種別	施設数（校）	対象者数（人）
小学校	296	5,300
特別支援学校	15	1,400
合計	311	6,700

児童生徒等への感染症対策の再徹底について

県内で感染拡大が高止まりしている状況にある中で、今年度の新学期がスタートしていくことから、改めて感染症対策の一層の徹底を図る。

学校の始業後も徹底して欲しい事項

- ・ 毎日の健康観察を行う
- ・ 体調不良時は外出を避ける
- ・ 近距離での会話や大声での発声等を避ける
- ・ 常時マスクの徹底



これまでの感染症対策の継続

学校行事

- ・学校行事は校内限りとする。
(入学式・始業式等は、時間を短縮する等、感染症対策を徹底して実施)



校外活動

- ・校外で行う活動(修学旅行、社会科見学、体験活動等)を見直し、適切な感染防止対策を徹底

部活動

- ・平日のみ、2時間以内
- ・他校との練習試合は原則禁止
- ・部活動前後の集団での飲食や部室等の一斉利用を控える



学校への支援や保健所との連携の強化

学校の支援体制の強化

- ・県教委に「情報収集・相談窓口班」「オンライン活用・業務支援班」を編成し、情報共有の徹底と、指導主事等による学校への支援を実施

保健所との連携強化

- ・県教委と市町村教委から保健所に職員をリエゾンとして派遣するとともに、児童生徒等や教員に感染者が確認された場合の接触状況の確認等の業務を支援

4月からの対応 ▶ 小学校及び特別支援学校の一斉検査の実施・学校衛生管理マニュアル等の改訂

一斉検査の実施

- ・PCR検査キット等による一斉検査の実施
【対象者】小学校・特別支援学校の教職員
【実施期間】4月中旬から



学校衛生管理マニュアルの改訂

- ・軽微な症状のある児童生徒等の登校は、地域の感染状況やアレルギー等の持病の有無などで個別に判断等

学校運営ガイドラインの改訂

- ・濃厚接触者に特定されない場合でも、マスクを着用しないで飲食を共にした者等は出席停止措置をとる等